

平成29年度社会福祉法人橘風会事業報告

I. 総括

1. 平成29年度の収支は、全体で前年度対比104.3%増となり、処遇改善加算の増加により増収を確保しましたが、その反面、人件費も103.7%と処遇改善加算の影響を受け、増加となった。ねむの丘においては入院者の増加に伴い、100.6%と微増に留まり、ショートステイにおいては空床利用の効率的運用が図られ、105.6%増と大幅な増収となった。
在宅部門においてはデイサービスで115.3%と大幅な増収となり、ケアプランセンターで110.4%増、ヘルパーステーション126.2%増と在宅部門が法人全体の収入増に大きく貢献した。
2. 本館改修その他改修工事を実施し、外壁塗装工事・屋根修繕・本館外調機の交換工事を行い、雨漏れの改善、加湿能力の低下に伴う感染リスクの軽減が図られた。また、以前から問題視されていた北側駐車場の砂ぼこりの改善策として、北側駐車場の舗装及び拡張工事を実施した。
3. 公益事業である福祉有償運送事業においては、ショートステイの入退院時の対応や受診等で利用され、公益的な役割を担えている。また、ショートステイの入退院時の対応で福祉有償運送が利用できる事により、ご家族の負担軽減が図られ、利便性の向上にもつながり、地域貢献の役割を果たせた。

II. 改正事項

1. 定款・規約・規程等の整備

1) 定款

- ① 定款の一部改正

2) 規約

- ① 社会福祉法人橘風会 就業規則の一部改正

3) 規程

- ① 社会福祉法人橘風会 給与規程の一部改正
- ② 社会福祉法人橘風会 経理規程の一部改正
- ③ 社会福祉法人橘風会 経理規程細則の一部改正
- ④ 社会福祉法人橘風会 役員等の旅費に関する規程の一部改正
- ⑤ 社会福祉法人橘風会 旅費規程の一部改正
- ⑥ 社会福祉法人橘風会 渋川市北橘地域包括支援センター運営規程の制定
- ⑦ 社会福祉法人橘風会 渋川市北橘地域包括支援センター指定介護予防支援事業所運営規程の制定
- ⑧ 社会福祉法人橘風会 介護予防・日常生活支援総合事業における指定第1号通所事業（通所型サービス）運営規程の制定
- ⑨ 社会福祉法人橘風会 介護予防・日常生活支援総合事業における指定第1号訪問事業（訪問型サービス）運営規程の制定
- ⑩ 社会福祉法人橘風会 再雇用職員の就業に関する規程の一部改正

Ⅲ. 組 織

1. 役 員 (平成30年 3月末日現在)

理事長	内田 章 義				
理事	都丸 政行	鈴木 基晴 (施設長)	狩野 義雄		
	都丸 宣彦	丸橋 正幸			(就任)
監事	今井 兼則	都丸 正隆			(就任順)
評議員	高橋 睦男	小林 百合子	田村 なつ江	諸田 正子	
	萩原 吉行	狩野 俊美	小川 志道		(就任順)

2. 職 員

(1) 橘風会 総数	119名	常勤64名 (男30名、女34名)	非常勤55名 (男9名、女46名)
(2) 施設長	1名	常勤1名 (男1名)	
(3) 総務課	11名	常勤3名 (男2名、女1名)	非常勤8名 (男6名、女2名)
課長	1名	常勤1名 (男1名)	
総務係	2名	常勤2名 (男1名、女1名)	
用務	2名	非常勤2名 (男2名)	
管理当直	3名	非常勤3名 (男3名)	
洗濯・清掃	3名	非常勤3名 (男1名、女2名)	
(4) 施設介護課	64名	常勤42名 (男22名、女20名)	非常勤22名 (男0名、女22名)
課長	1名	常勤1名 (男1名)	
生活支援係	2名	常勤1名 (管理栄養士1名)	非常勤1名 (栄養士1名)
介護支援専門員	1名	常勤1名 (男1名)	
第一介護係	27名	常勤16名 (男9名、女7名)	非常勤11名 (男0名、女11名)
第二介護係	33名	常勤23名 (男11名、女12名)	非常勤10名 (男0名、女10名)
(5) 医務課	10名	常勤6名 (看護師4名、准看護師2名)	非常勤4名 (看護師0名、准看護師4名)
課長	1名	常勤1名 (看護師1名)	
医務係	8名	常勤3名 (看護師1名、准看護師2名)	

			非常勤 5名 (看護師1名、准看護師4名)
名)	機能訓練指導員	1名	常勤 1名 (看護師1名)
(6)	在宅介護課	31名	常勤10名 (男4名、女6名) 非常勤21名 (男3名、女18名)
	課長	1名	常勤 1名 (男 1名)
	通所介護事業所	14名	常勤 3名 (男 1名、女 2名) 非常勤11名 (男 1名、女10名)
	運転手	2名	非常勤 2名 (男 2名)
	居宅介護支援事業所	5名	常勤 4名 (男 2名、女 2名) 非常勤 1名 (男 0名、女 1名)
	訪問介護事業所	8名	常勤 1名 (サービス提供責任者) 非常勤 7名 (登録ヘルパー)
	在宅介護支援センターねむの丘		常勤 2名 (男 1名、女 1名)
(6)	渋川市出向者	2名	常勤 2名 (男 1名、女 1名)

IV. 会 議
1. 理 事 会

開催年月日	開催名	議題内容
平成29年 5月27日	第1回理事会	議案第 1号 平成28年度社会福祉法人橘風会事業報告並びに資金収支決算 (資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表、財産目録) の認定について [監査報告] 議案第 2号 社会福祉法人橘風会 役員等の旅費に関する規程の一部改正について 議案第 3号 社会福祉法人橘風会 旅費規程の一部改正について 報告事項 (1) 平成28年度第1回評議員選任・解任委員会の報告について (2) 平成28年度社会福祉充実残額について (3) ねむの丘本館屋根防水・外壁塗装等工事及びねむの丘駐車場舗装・緑化工事について (4) 社会福祉法人橘風会 理事及び監事の任期について
平成29年 6月17日	第2回理事会	議案第 4号 社会福祉法人橘風会 理事長の選任について 議案第 5号 社会福祉法人橘風会 業務執行理事の選任について
平成29年 8月26日	第3回理事会	議案第 6号 社会福祉法人橘風会 給与規程の一部改正について 報告事項 (1) 特別養護老人ホームねむの丘 本館改修その他工事及び駐車場整備工事の入札結果について (2) 渋川市地域包括支援センター運営業務委託の決定について
平成29年12月 2日	第4回理事会	議案第 7号 社会福祉法人橘風会 定款の一部改正について 議案第 8号 平成29年度社会福祉法人橘風会第一次資金収支補正予算について 議案第 9号 社会福祉法人橘風会 渋川市北橘地域包括支援センター運営規程の制定について 議案第10号 社会福祉法人橘風会 渋川市北橘地域包括支援センター指定介護予防支援事業所運営規程の制定について 議案第11号 社会福祉法人橘風会 経理規程の一部改正について

		議案第12号 社会福祉法人橘風会 経理規程細則の一部改正について 議案第13号 社会福祉法人橘風会 通所介護事業所指定介護予防通所介護事業運営規程の廃止について 議案第14号 社会福祉法人橘風会 介護予防・日常生活支援総合事業における指定第1号通所事業(通所型サービス)
--	--	---

開催年月日	開催名	議題内容
平成29年12月2日	第4回理事会	運営規程の制定について 議案第15号 社会福祉法人橘風会 指定介護予防訪問介護事業運営規程の廃止について 議案第16号 社会福祉法人橘風会 介護予防・日常生活支援総合事業における指定第1号訪問事業(訪問型サービス)運営規程の制定について 議案第17号 社会福祉法人橘風会 就業規則の一部改正について 議案第18号 社会福祉法人橘風会 再雇用職員の就業に関する規程の一部改正について 議案第19号 社会福祉法人橘風会 評議員会の開催について 報告事項 (1) 平成30年度給食業務委託業者の変更について
平成30年3月3日	第5回理事会	議案第20号 平成29年度社会福祉法人橘風会第二次資金収支補正予算について 議案第21号 平成30年度社会福祉法人橘風会事業計画並びに資金収支予算について 議案第22号 社会福祉法人橘風会 就業規則の一部改正について 議案第23号 社会福祉法人橘風会 給与規程の一部改正について 議案第24号 社会福祉法人橘風会 再雇用職員の就業に関する規程の一部改正について 議案第25号 社会福祉法人橘風会 人事考課規程の一部改正について 議案第26号 社会福祉法人橘風会 評議員会の開催について 報告事項 (1) 特別養護老人ホームねむの丘 本館改修その他工事及び駐車場整備工事について
平成30年3月24日	第6回理事会	議案第27号 社会福祉法人橘風会 ユニット型指定介護老人福祉施設特別養護老人ホームねむの丘運営規程の一部改正について 議案第28号 社会福祉法人橘風会 従来型指定介護老人福祉施設特別養護老人ホームねむの丘運営規程の一部改正について 議案第29号 社会福祉法人橘風会 指定短期入所生活介護事業運営規程の一部改正について 議案第30号 社会福祉法人橘風会 指定介護予防短期入所生活介護事業運営規程の一部改正について 議案第31号 社会福祉法人橘風会 通所介護事業所指定通所介護事業運営規程の一部改正について 議案第32号 社会福祉法人橘風会 介護予防・日常生活支援総合事業における指定第1号通所事業(通所型サービス)運営規程の一部改正について 議案第33号 社会福祉法人橘風会 指定訪問介護事業運営規程の一部改正について 議案第34号 社会福祉法人橘風会 介護予防・日常生活支援総合事業における指定第1号訪問事業(訪問型サービス)運営規程の一部改正について

2. 監査会

開催年月日	事業内容
平成29年 5月 8日	平成29年度 監査会（平成28年度決算監事監査）
平成29年12月 6日	平成29年度 上半期会計監査会

3. 評議員会

開催年月日	開催名	議題内容
平成29年 6月17日	第1回 評議員会	議案第 1号 平成28年度社会福祉法人橘風会事業報告並びに資金収支決算（資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表、財産目録）の認定について [監査報告] 議案第 2号 社会福祉法人橘風会 次期役員の選任について 報告事項 (1) 平成28年度社会福祉充実残額について
平成29年 8月26日	第2回 評議員会	議案第 3号 社会福祉法人橘風会 給与規程の一部改正について 報告事項 (1) 特別養護老人ホームねむの丘 本館改修その他工事及び駐車場整備工事の入札結果について (2) 渋川市地域包括支援センター運営業務委託の決定について
平成29年12月21日	第3回 評議員会	議案第 4号 社会福祉法人橘風会 定款の一部改正について 議案第 5号 平成29年度社会福祉法人橘風会第一次資金収支補正予算について 議案第 6号 社会福祉法人橘風会 渋川市北橘地域包括支援センター運営規程の制定について 議案第 7号 社会福祉法人橘風会 渋川市北橘地域包括支援センター指定介護予防支援事業所運営規程の制定について 議案第 8号 社会福祉法人橘風会 経理規程の一部改正について 議案第 9号 社会福祉法人橘風会 経理規程細則の一部改正について 議案第10号 社会福祉法人橘風会 通所介護事業所指定介護予防通所介護事業運営規程の廃止について 議案第11号 社会福祉法人橘風会 介護予防・日常生活支援総合事業における指定第1号通所事業（通所型サービス）運営規程の制定について 議案第12号 社会福祉法人橘風会 指定介護予防訪問介護事業運営規程の廃止について 議案第13号 社会福祉法人橘風会 介護予防・日常生活支援総合事業における指定第1号訪問事業（訪問型サービス）運営規程の制定について 議案第14号 社会福祉法人橘風会 就業規則の一部改正について 議案第15号 社会福祉法人橘風会 再雇用職員の就業に関する規程の一部改正について 報告事項 (1) 平成30年度給食業務委託業者の変更について

開催年月日	開催名	議題内容
平成30年 3月24日	第4回 評議員会	<p>議案第16号 平成29年度社会福祉法人橘風会第二次資金収支補正予算について</p> <p>議案第17号 平成30年度社会福祉法人橘風会事業計画並びに資金収支予算について</p> <p>議案第18号 社会福祉法人橘風会 就業規則の一部改正について</p> <p>議案第19号 社会福祉法人橘風会 給与規程の一部改正について</p> <p>議案第20号 社会福祉法人橘風会 再雇用職員の就業に関する規程の一部改正について</p> <p>議案第21号 社会福祉法人橘風会 人事考課規程の一部改正について</p> <p>議案第22号 社会福祉法人橘風会 ユニット型指定介護老人福祉施設特別養護老人ホームねむの丘運営規程の一部改正について</p> <p>議案第23号 社会福祉法人橘風会 従来型指定介護老人福祉施設特別養護老人ホームねむの丘運営規程の一部改正について</p> <p>議案第24号 社会福祉法人橘風会 指定短期入所生活介護事業運営規程の一部改正について</p> <p>議案第25号 社会福祉法人橘風会 指定介護予防短期入所生活介護事業運営規程の一部改正について</p> <p>議案第26号 社会福祉法人橘風会 通所介護事業所指定通所介護事業運営規程の一部改正について</p> <p>議案第27号 社会福祉法人橘風会 介護予防・日常生活支援総合事業における指定第1号通所事業（通所型サービス）運営規程の一部改正について</p> <p>議案第28号 社会福祉法人橘風会 指定訪問介護事業運営規程の一部改正について</p> <p>議案第29号 社会福祉法人橘風会 介護予防・日常生活支援総合事業における指定第1号訪問事業（訪問型サービス）運営規程の一部改正について</p> <p>報告事項 (1) 特別養護老人ホームねむの丘 本館改修その他工事及び駐車場整備工事について</p>

4. その他

開催年月日	事業内容
平成29年 5月 7日	第1回家族会総会 苗の植え付け、掃除等
平成29年 5月 8日	苦情解決報告会
平成29年 7月13日	入所判定委員会の開催
平成29年 8月26日	第22回ねむの丘祭り
平成29年 9月18日	第2回家族会 「看取り介護」について勉強会

平成29年11月15日	入所判定委員会の開催
平成29年12月23日	第3回家族会 餅つき、大掃除等
平成30年 2月1日	入所判定委員会の開催

V. 事業（目標）結果

1. 総務課

<目標>

- 人材育成を強化し、職場研修(OJT)をはじめ各種研修を計画的に実施します。
- 産業医による心理相談の実施回数を拡充するなど、メンタルヘルス対策を推進します。
- 障害者施設で発生した入所者殺傷事件は、社会福祉施設関係者に大きな衝撃を与えましたが、当施設において防犯設備等の導入により利用者や職員の安全を確保できるような防犯対策を講じます。
- 個人情報及び特定個人情報等への不正侵入、個人情報及び特定個人情報等の紛失、破壊、改ざん及び漏えいなどを防止するため、適正な情報セキュリティ対策を講じます。

<結果>

- メンタルヘルス対策としてストレスチェックを実施し、メンタル不調に陥る前に職員の状態を把握し、リスク軽減に努めた。また、心理的負担や肉体的負担が顕著に表れた職員に対しては産業医・衛生管理者が主体となり、個人面談を実施し、職場環境の改善や心理的負担の軽減に努めた。
- 不正アクセスや違法サイトへのアクセスが行われていないか監視装置を設置し、個人情報漏えいの防止策を講じた。
- 防災訓練を年2回実施し、幹部職員を中心に訓練を行った。指導する立場の職員が防災意識を高める事により、チーム全体の防災に対する危機管理能力が向上した。

法人共通研修

平成29年4月5日	諸規程・社会人としてのマナーについて
平成29年6月7日	食中毒に対する知識と予防方法の講義
平成29年7月5日	認知症の理解
平成29年10月4日	感染症の予防と蔓延予防
平成29年12月6日	身体拘束を行わないケア
平成30年1月10日	褥瘡のメカニズムと予防方法

29年度(福祉有償運送事業)

要介護度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護1	2												2
要介護2		2	2	4		2	6	2	2	2	2		24
要介護3	9	2	12	5	6	9	15	7	6	27	32	13	143
要介護4	2	1	2		2	8	2	4					21
要介護5	8	7	4			2			1		4	2	28
合計	21	12	20	9	8	21	23	13	9	29	38	15	218

2. 施設介護課

施設介護課基本方針

- 親孝行の視点で利用者の思いによりそうケアを提供する。
- 『ねむの丘ケア方針』に基づいた愛情あるケアを提供する。

各部署の目標

① 生活相談員

<目標>

ご利用者が自己肯定感を感じられるコミュニケーションを通して心地良い生活を支援します。

- 自己肯定感の重要性について周知できる。
- 生活史をふまえたコミュニケーションが図れる。

<結果>

- 入所時にもれなくフェイスシートを作成できた。生活歴を活用して、個々のご利用者が笑顔になれ自己肯定感を感じられる関わりを図った。
- ターミナルケア研修を活用して、人は自分自身のことを『価値ある存在』だと思っていきたい。他者からも『価値ある存在』だと思っていきたいと願っていることを伝え、「自己肯定感」を感じながら生活を送るために、私たち援助者から大切にされていると感じられる援助を常に考え実践する必要性を伝えることができた。

② 介護支援専門員

<目標>

ご利用者一人ひとりの生活が楽しく喜びに繋がるケアプランを作成し、豊かな施設生活が送れるように支援します。

- ケアプラン関係様式を職員に周知し活用レベルまで持っていく。
- 日常ケアで気づきの視点を持ってケアプランを意識してケアすることができる。
- ターミナルケアプランの様式を理解して、ケアプランに沿ったケアが提供できるようにする。

<結果>

- ケアプランの関係様式について新人職員を中心に OJT(職務中の指導)を図ったことによりアセスメント様式を活用した個別援助の理解が深まった。
- ターミナル期のご利用者に対して、ターミナルケアプランに沿ったケアを提供することができた。

③ 管理栄養士

<目標>

他職種連携により、安全に美味しく食事ができることで栄養状態の維持向上を図り、意欲的な生活が送れるよう支援します。

- 他職種連携により、いつまでも口から食べられるよう支援できる。
- 栄養状態の変化に気づき、改善ができる。
- 生活の楽しみの一つとなるような食事が提供できる

<結果>

- 他職種連携し、嚥下機能や栄養状態に合わせて食事の形態・内容を検討できた。ミールラウンドの必要性や方法を理解し浸透させることが課題として残った。
- 生活の楽しみの一つとなるような食事提供のために、献立に年中行事や季節感を取

り入れ、ポスター掲示やカードの作成を行った。

④ 介護係

第一係橘組

<目標>

ご利用者との関わりを楽しみ、笑顔で生き活きとした暮らしを支援します。

- 相手の立場に立って何を考え、何を望んでいるか、笑顔になって頂いた事などフェイスシートに更新、活用し統一したケアを支援します。
- アセスメント表のスピリチュアルケアの項目に着目し、ご利用者一人ひとりにとって意味のある援助を職員全員で共有し、統一したケアを提供していく。
- ご家族、ご利用者に対して信頼関係が築けるように、職員全員で同じ情報を共有し実践する。

<結果>

- ご利用者からの情報をもとにフェイスシート作成、年2回更新し、活用する事で利用者との会話も増え笑顔も多く見られるようになった。
- ご家族を交えての食事会を年8回開催する事ができ、ご家族と一緒に過ごす時間を作る事ができた。

第一係風組

<目標>

ご利用者の尊厳を保持し、個性を尊重しながら自立に向けた支援を提供します。

- ご利用者の思いやこだわり、生活習慣を尊重した支援を提供します。
- ご利用者のADLが維持でき、生活機能の向上が図れるよう支援します。
- 生き生きとした生活を送ることで、楽しみや生きがいが見つけられるよう支援します。

<結果>

- 気づきや共有すべき情報を周知することができた。
- ご利用者の役割やリハビリなど継続的に実践でき、ADL(日常生活動作)の維持・拡大に繋がった。
- 行事やカラオケ、ラジオ体操などに参加したことで、楽しみや生きがいに繋がった。

第二係花組

<目標>

ご利用者の尊厳を保持し、個性を尊重しながら自立に向けた支援を提供します。

- 本人、家族がどのような暮らしを望むのか情報シートにまとめ支援に繋げる。
- シートに基づき意欲に繋がる活動を計画し定期的実施する。
- 統一したケアを実施する為に定期的なミーティング、OJT(職務中の指導)を実施する。

<結果>

- 情報シートの様式を見直し、更新を実施したが情報が十分に活用されず、行事や日常生活の工夫に活かす事ができず、課題が残った。
- 個別に合わせた行事や外出は行う事ができ、ご利用者の笑顔を引き出す活動を行えた。
- 定期的なミーティング、タイムリーなOJT(職務中の指導)を実施したことでケアの統一を図り、大きな事故もなく支援が行えた。

第二係月組

<目標>

笑顔になれる余暇活動を実施することで、明日をむかえることが楽しみと思える日々を提供します。

- 利用者の笑顔を引き出す為の余暇活動をチームで取り組む事ができる。
- 外出行事を増やす事で家族と一緒に掛ける事ができる。

<結果>

- 定期的な行事の実施することで、ご利用者の笑顔につなげる事ができた。
- ご家族の参加も促し誕生会や食事会に参加して頂き実施することができた。

第二係宙組

<目標>

ご利用者主体の日々を送れるよう、ご家族と連携し笑顔の絶えない日々を送れるよう支援します。

- 生活歴を活用し昔行っていた事や、今後行いたい事が月に一回行える。
- 生活歴やアセスメントシートで得た情報を、毎日コミュニケーションの中で活用できる。
- 笑顔になった事柄や興味を持って頂けた事を1日1個引き出す事ができる。
- 一日一回はご利用者と一緒に過ごす時間(コミュニケーションやレクリエーション)の場を設ける事ができる。
- ご家族と一緒に外出、面会の機会を増やす事ができる。

<結果>

- アセスメントシートの見直しは行っていたが、十分な活用には課題が残った。
- 生活歴やアセスメント内容の活用した関りはできていたが、記録に残し評価するまでに至らなかった。
- 下半期には、笑顔になれる事柄やレクリエーションを行っていたが、記録に残し評価するまでに至らなかった。
- 行事や外出行事等を活用し、ご利用者の願いを導き実践できてた。
- 年間を通してご家族との関わりはしっかりと持つ事ができた。

第二係星組

<目標>

自己選択・自己決定を尊重しご利用者の想いや願いを確認し実現につなげられる支援を提供します。

- ご利用者の思いや願いを確かめる。
- アセスメントシートを活用したケアを行う。

<結果>

- 気づきの情報を記録に残すことでチーム内での情報共有を行い思いや願いに寄り添ったケアができた。
- アセスメントシートの情報を見直すことはできたが、実際のケア場面で活用することができず課題が残った。

第二係楓組

<目標>

ご利用者の慣れ親しんだ環境を整え、生活習慣や好みに合わせたケアを行うことで自分の住まいと思えるような支援を提供します。

- ご利用者の居室を慣れ親しんだ物などを設置し住みやすい環境にすることができる。
- ご利用者の生活習慣や好みを知りそれに合わせたケアが提供できる。

<結果>

- ご家族ともお話ししながらご利用者の思い入れのある物の設置や居間にご利用者の状態に合わせた住みやすい環境を整えることができた。
- ご利用者の今までの生活習慣や好みなどをご本人やご家族に聞きながら、合わせたケアを行うことができた。

第二係桜組

<目標>

個々のご利用者にあった生活リズムやニーズを把握し家族と共に笑顔で過ごせるように支援します。

- アセスメント情報を活用し、生活史や誇りに思っていることを理解しコミュニケーションに活用できる。
- 地域の行事や家族などを巻き込んだ行事を計画し実地できる。

<結果>

- 日常生活記録に個々の生活史や誇りに思っていることを記載することで、日常のケア場面で活用することができた。
- 父の日・母の日は家族をお誘いし一緒に行うことができたが、リンゴ狩り・クリスマス会は事前の段取りが図れず家族をお誘いすることができなかった。

⑤ 短期入所生活介護

<目標>

個々のご利用者の存在を認め積極的に向き合い短期入所サービス計画書を活用して統一したケアを実践します。

- ご利用者に積極的に寄り添い傾聴し、真心と笑顔で接し心が和むケアを提供する。
- ご利用者が楽しめるような余暇活動を実施することでADL(日常生活動作)やQOL(生活の質)の向上を目指していく。
- ご利用者の趣味や生き甲斐等を把握して楽しみのある時間をご利用者と共に過ごす。

<結果>

- 短期入所サービス計画書を随時更新し職員間で周知することにより、ご利用者に寄り添うケアを展開することができた。

⑥ 各委員会

リスクマネジメント委員会

<目標>

リスクマネジメント力の向上にむけた取り組みを浸透させることで、気づきの啓発に繋げ、質の高いケアの実践から事故を未然に回避し、ご利用者の安心、安全な生活を提供します。

- KYT(危険予知訓練)の継続実施により、気づきの感性を高め、ご利用者の小さな変化や潜在するリスクに対して早期に予防策を講じることができる。
- 分析ツール SHEL モデルを活用することで、多角的な要因分析と予防策の構築が実現でき、質の向上を図ることができる。

<結果>

- KYT(危険予知訓練) の実践により、職員一人ひとりの安全への意識が高めることができた。
- 予防策の周知及び迅速な実践により骨折事故が減少することができた。

食事改善・食中毒委員会

<目標>

他職種連携により、ご利用者にとって安心安全で、生活の楽しみとなるような食事を提供します。

- 安心して召し上がれる食事が提供できる。
- 生活の楽しみの一つとなるような食事が提供できる。

- 食事についての課題が共有できる。

<結果>

- 生活の楽しみとなるような食事を提供するために、献立に年中行事や季節を感じられるメニューを取り入れた。
- 日々の食事を良いものにするためには、給食業者と連携を図り、課題を共有していく必要があると感じた。委員会や会議をどう開催していくか課題が残った。

資質向上委員会

<目標>

理念・基本方針を常に思考し、自らの役割を認識し質の高いサービスを提供します。

- 職員一人ひとりが基本方針を理解しご利用者をかけがえのない存在として親孝行の視点で援助を思考し実施できる。
- 意見・要望を真摯に受け止め、問題点を明確にし、共通認識のもと解決に取り組む。
- 社会人としての接遇マナーやモラルを理解し、職場（組織）としての品質、知識技術の向上に努める。

<結果>

- 基本方針を思考し可視化する事でケアの見直しや、やるべき事を見出すことができた。
- 各組の目標の進捗状況を確認することで、ねむの丘基本方針を意識しケアの見直しや、やるべき課題を見出すことができた。
- ねむの丘ケア方針研修を実施する事で各組の課題を見出し、各組でOJT(職務中の指導)することができ課題を改善することができた。
- 看取りの指針を見直すことで、よりご家族に伝わりやすいように修正することができた。

感染対策委員会

<目標>

ノロウイルス・インフルエンザ等の感染対応を適切に実施します。

- 感染流行期までにすべての職員が感染予防の対応が適切に行えるようになっている。
- 感染に必要な物品が周知でき用意ができる。
- 口腔ケアが適切に行えるようになり誤嚥性肺炎の予防ができる。
- 湿度管理ができ感染が予防できる。

<結果>

- 「感染対策の日」でノロウイルス初期対応について研修を行えた。
- インフルエンザの時期前には蔓延予防について各組にメールを通じて意識付けをした。
- 口腔ケアについては毎月「口腔ケアのポイント」を各組で意識しながら行うことでスタッフが口腔ケアに興味を持って取り組めるようになっている。
- 湿度管理については加湿器の清掃管理には課題が残った。

身体拘束委員会

<目標>

行動の抑制や拘束に繋がるケアについて理解し利用者本位のケアを提供します。

- どういったケアが拘束や抑制に繋がるのかを事例や体験を通し検証する。

<結果>

- 言葉遣いを通して自身のケアや関わり方が場合によっては行動の抑制や言葉による暴力に繋がるおそれがあることを認識することができるようになることを目的として

取り組みを行ったことで、言葉遣いを意識したケアにつなげることができた。

- 施設内研修で権利擁護・虐待について伝え介護職員がご利用者の権利を守る存在であることを伝えることができた。

褥瘡委員会

<目標>

褥瘡に対する知識を身につけ発生を予防するケアを提供します。

- エアマット・褥瘡予防マット・車椅子用クッションが適切に使用されているか調査する。
- 各組の褥瘡発生者について把握し経過を家族へ伝える。
- 褥創予防の研修を実施し知識を深める。
- 管理栄養士は褥瘡予防の観点から栄養管理・体重チェックを毎月行う。

<結果>

- エアマット・褥瘡予防マット・車椅子用クッションの使用調査は看護主導で行うことができた。
- 各組の褥瘡発生者に関しても看護師と委員会で把握し各組で処置を行うことができた。
- 法人共通研修「褥瘡のできる過程とその予防について」として研修を行うことができた。
- 体重チェックは毎月、各組で全利用者に対し行われ管理栄養士が「体重チェック・BMI表」として管理できている。また、各利用者にはケース会議の中で栄養管理について家族に説明することができた。

広報委員会

<目標>

法人内部やご家族だけへの情報発信に留まらず、福祉関係者及び県内の学生にも法人を知って頂けるよう、広い範囲での発信を行います。

- 施設便り年4回発行する。
- 求人情報・ボランティア募集情報など活用できるようにする。

<結果>

- 「ふれあい便り」年4回発行し、ご利用者の様子、施設からのお知らせなどご家族へ伝えることができた。

○ 入退所状況

(従来型)

	1日現在 在所要者数	入所要者数	退所要者数	退所要理由	当該月 延べ人数
4月	39人	人	2人	死亡×1 その他×1	1,129人
5月	40人	2人	人	死亡× その他×	1,138人
6月	39人	1人	1人	死亡× その他×1	1,163人
7月	40人	人	1人	死亡×1 その他×	1,228人
8月	40人	1人	人	死亡× その他×	1,175人
9月	40人	1人	1人	死亡×1 その他×	1,123人
10月	40人	人	1人	死亡×1 その他×	1,166人
11月	40人	1人	人	死亡× その他×	1,110人
12月	39人	人	人	死亡× その他×	1,130人

	1日現在 在所者数	入所者数	退所者数	退所理由	当該月 延べ人数
4月	58人	3人	2人	死亡×2 その他×	1,631人
5月	58人	1人	1人	死亡× その他×1	1,616人
6月	58人	1人	1人	死亡×1 その他×	1,664人
7月	60人	1人	人	死亡× その他×	1,738人
8月	60人		3人	死亡×2 その他×1	1,720人
9月	59人	3人	人	死亡× その他×	1,693人
10月	60人	2人	2人	死亡×1 その他×1	1,722人
11月	60人	1人	1人	死亡×1 その他×	1,654人
12月	59人	1人	3人	死亡×2 その他×1	1,665人
1月	59人	2人	1人	死亡×1 その他×	1,677人
2月	60人	2人	4人	死亡×3 その他×1	1,549人
3月	60人	4人	1人	死亡×1 その他×	1,756人
合計		21人	19人	死亡者 14人・その他 5人	
1月	38人	1人	1人	死亡×1 その他×	1,137人
2月	39人	人	人	死亡× その他×	1,057人
3月	40人	1人	2人	死亡×1 その他×1	1,100人
合計		8人	9人	死亡者 6人・その他 3人	

(ユニット型)

○ 入所者の状況(ねむの丘従来型)

要介護度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	比率
要介護 1	男														0.2%
	女	1												1	
要介護 2	男														2.3%
	女		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	11	
要介護 3	男	3	3	3	3	3	4	4	4	4	4	4	4	43	13.6%
	女	2	3	3	3	3	1	1	1	1	1	2	2	23	
要介護 4	男	4	4	4	5	5	4	4	4	4	6	6	4	48	38.6%
	女	11	10	11	10	9	12	13	12	12	13	13	13	139	

要介護 5	男	6	6	6	5	5	5	5	5	5	6	6	6	66	45.2%
	女	13	13	13	13	14	14	12	13	13	13	11	11	153	
延べ人数		40	40	41	40	40	41	40	40	40	41	40	41	484	
平均介護度		4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.2	4.2	4.3	

○ 入所者の状況(ねむの丘ユニット型)

要介護度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	比率
要介護 1	男														1.7%
	女	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	
要介護 2	男														1.2%
	女	1	1	1	1	1	1	1	1	1				9	
要介護 3	男	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2	33	16.4%
	女	7	7	7	7	4	7	7	7	7	9	9	8	86	
要介護 4	男	3	2	3	3	3	3	3	3	4	4	4	5	40	39.6%
	女	21	20	20	20	23	20	21	20	20	20	21	22	248	
要介護 5	男	4	3	2	3	3	3	3	3	3	4	5	5	42	41.1%
	女	21	23	23	22	22	22	23	23	22	20	19	17	257	
延べ人数		61	60	60	60	60	60	62	61	61	60	61	61	727	
平均介護度		4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	1日平均
要介護者	実人数	49人	51人	46人	50人	45人	49人	38人	50人	49人	45人	42人	51人	565人	
	延日数	639日	634日	616日	617日	627日	597日	560日	633日	636日	623日	549日	709日	7,440日	20.3人
要支援者	実人数	4人	2人	1人	0人	1人	0人	2人	2人	1人	1人	1人	0人	15人	
	延日数	20日	13日	5日	0日	5日	0日	10日	11日	10日	8日	2日	0日	84日	0.2人
合 計		659日	647日	621日	617日	632日	597日	570日	644日	646日	631日	551日	709日	7,524日	20.6人
1日平均		21.9人	20.8人	20.7人	19.9人	20.3人	19.9人	18.3人	21.4人	20.8人	20.3人	19.6人	22.8人	20.6人	

○ 入院者の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	1日平均
従来型	60日	89日	34日	5日	58日	74日	68日	93日	115日	99日	94日	110日	899日	2.4人
ユニット型	118日	249日	108日	109日	120日	83日	129日	136日	177日	143日	103日	97日	1,572日	4.3人
合 計	178日	338日	142日	114日	178日	157日	197日	229日	292日	242日	197日	207日	2,471日	6.7人
1日平均		5.9人	10.9	4.7人	3.6人	5.7人	5.2人	6.3人	7.6	9.4人	7.8人	7.0	6.6人	6.7人

		人						人			人		
--	--	---	--	--	--	--	--	---	--	--	---	--	--

○ ショート利用状況

3. 医務課

<目標>

安心・安楽で居心地のよい生活が送れる。

- ご本人・ご家族がねむの丘でどの様に暮りたいか確認し情報共有できる。
- 多職種で医療情報を共有する。
- ご利用者のターミナル期について多職種で判断する。

<結果>

- 入所時・ケース会議・面会時に「ねむの丘でどの様に暮らしたいか」についてご家族やご本人に聞き取りを行うことで確認する事ができた。
- 医療情報については看護師間では看護会議で身体状態の変化が大きいご利用者や入院中のご利用者を挙げて話し合うことで情報共有を行った。介護・看護間ではユニット会議の時に介護情報を確認し今後起こりうる身体状況を説明して安心に繋がられた。ご家族間は面会時やケース会議時に身体状況が伝えられた。入院中のご利用者の状況把握については毎週病院から「入院中の様子」を情報として受け取り「入院中の様子」として入力し看護から介護へ伝達している。また病院に面会し病院看護師からの情報も入手している。
- ご利用者のターミナル期の判断については嘱託医・看護師で週1回の回診時に医師に身体状況を報告し「ターミナルカンファレンス」を開催し多職種（ご利用者・ご家族・ケアマネ・看護師・介護士）で情報を共有して行った。看取り後は介護・看護で偲びのカンファレンスを行った。その後、資質向上委員会でもご家族への「看取りアンケート」を行うことで看取りについての反省と今後の課題を抽出できている。

4. 在宅介護課

(1) デイサービスセンター虹の家

<目標>

多くの高齢者やご家族、地域の皆様に、虹の家が楽しく元気になれる場所だと認識してもらい、親孝行の精神で心のこもったサービスを提供します。

第一デイにおいては、機能訓練やレクリエーションの充実、第二デイにおいては介護予防、認知症予防を充実させ、様々なニーズに応じていきます。

<結果>

前年度はインフルエンザの影響により実績が減少したため、今年度は利用者の来所時及び施設内・送迎車両の感染予防対策の強化を図り、感染症の蔓延を防ぐことができ、また当法人を含めた居宅介護支援事業所との連絡を密にし、新規利用者を獲得できた事により対前年比で増収となった。

渋川市で実施している介護予防おうえんポイント制によるボランティアや慰問が増え、利用者が楽しむことができた。

デイサービスセンター虹の家 利用状況報告（29年度）

平成28年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期	累計	平均
開館日	26	26	26	26	27	26	157	26	26	26	24	24	27	153	310	26
要支援1	57	65	73	48	52	46	341	34	35	39	45	46	43	242	583	49
要支援2	70	82	66	83	79	84	464	111	93	98	90	93	112	597	1061	88
要支援延利用人員	127	147	139	131	131	130	805	145	128	137	135	139	155	839	1644	137
要支援一日平均	4.9	5.7	5.3	5.0	4.9	5.0	5.1	5.6	4.9	5.3	5.6	5.8	5.7	5.5	5.3	5.3
介護度1	278	275	282	292	318	286	1731	298	275	357	314	305	360	1909	3640	303
介護度2	162	155	176	177	157	156	983	160	142	170	147	157	149	925	1908	159
介護度3	166	147	177	206	218	200	1114	196	167	176	181	202	232	1154	2268	189
介護度4	49	53	59	57	76	49	343	50	58	59	48	31	59	305	648	54
介護度5	27	30	15	15	27	36	150	30	12	11	10	12	4	79	229	19
要介護延利用人員	682	660	709	747	796	727	4321	734	654	773	700	707	804	4372	8693	28.0
要介護一日平均	26.2	25.4	27.3	28.7	29.5	28.0	27.5	28.2	25.2	29.7	29.2	29.5	29.8	28.6	28.0	
延利用人員数	809	807	848	878	927	857	5126	879	782	910	835	846	959	5211	10337	861
一日平均	31.1	31.0	32.6	33.8	34.3	33.0	32.6	33.8	30.1	35.0	34.8	35.3	35.5	34.1		33.3
平成29年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期	累計	平均
開館日	25	27	26	26	27	26	157	26	26	26	24	24	27	153	310	26
要支援1	43	41	30	29	23	21	187	25	26	16	14	10	13	104	291	24
要支援2	96	106	105	105	94	98	604	111	145	137	127	129	188	837	1441	120
要支援延利用人員	139	147	135	134	117	119	791	136	171	153	141	139	201	941	1732	144
要支援一日平均	5.6	5.4	5.2	5.2	4.3	4.6	5.0	5.2	6.6	5.9	5.9	5.8	7.4	6.2	5.6	5.6
介護度1	356	400	375	415	415	358	2319	351	344	358	330	336	389	2108	4427	369
介護度2	155	178	201	214	201	229	1178	267	240	239	230	207	236	1419	2597	216
介護度3	202	192	198	206	221	236	1255	191	205	219	176	156	203	1150	2405	200
介護度4	45	85	82	85	84	75	456	57	42	54	59	50	66	328	784	65
介護度5	12	7	5	4	6	4	38	11	5	6	8	5	4	39	77	6
要介護延利用人員	770	862	861	924	927	902	5246	877	836	876	803	754	898	5044	10290	857.5
要介護一日平均	30.8	31.9	33.1	35.5	34.3	34.7	33.4	33.7	32.2	33.7	33.5	31.4	33.3	33.0		33.19
延利用人員数	909	1,009	996	1,058	1,044	1,021	6,037	1,013	1,007	1,029	944	893	1,099	5,985	12,022	2,404
一日平均	36.4	37.4	38.3	40.7	38.7	39.3	38.5	39.0	38.7	39.6	39.3	37.2	40.7	39.1		38.8

(2) 居宅介護支援事業所

<目標>

相談しやすい窓口を提供し、より多くの方のケアマネジメントを行っていきます。

<結果>

- ご利用者の希望、心身の状況、生活環境、ご家族の支援状況等をより把握するように努め、ご利用者一人一人が望む生活を実現できるように支援することができた。
- ご利用者、ご家族より相談を受けた際には迅速に対応を行うことで信頼関係を構築することができた。
- ご利用者の入院時には病院を訪れるように努め、病院の関係者と連携することでご利用者、ご家族が安心して在宅生活を過ごせるように退院支援を行うことができた。
- サービス計画書作成数（担当数）において介護給付について拡大した。

主な活動内容

- ① サービス計画書の作成
- ② 自宅訪問による相談
- ③ サービス担当者会議の開催
(介護保険証の更新時又はサービス内容の変更時)
- ④ モニタリング（評価）
- ⑤ 各居宅サービス事業所、行政機関、主治医（医療機関）との連携
- ⑥ 各種申請の代行手続き
・介護保険要介護申請代行
- ⑦ 自己研鑽（事業所内研修毎週1回、外部研修）
- ⑧ 書類の整備

平成28年度居宅介護支援事業所 要介護度別担当者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	比率
要介護1	38	39	40	40	43	43	46	41	47	47	42	45	511	38%
要介護2	27	28	32	34	32	34	30	30	29	31	34	33	374	28%
要介護3	20	20	20	22	26	24	25	24	21	26	28	29	285	21%
要介護4	12	11	11	11	9	6	8	8	10	11	12	12	121	9%
要介護5	6	6	4	5	7	7	6	5	3	2	4	3	58	4%
要介護累計	103	104	107	112	117	114	115	108	110	117	120	122	1,349	
要支援1	23	24	24	21	21	19	20	21	22	23	22	21	261	48%
要支援2	23	22	22	23	22	24	24	23	23	24	25	26	281	52%
要支援累計	46	46	46	44	43	43	44	44	45	47	47	47	542	

平成 29 年度居宅介護支援事業所 要介護度別担当者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	比率
要介護 1	47	46	43	44	46	42	39	39	38	40	40	39	503	33%
要介護 2	39	38	38	39	37	42	42	41	42	40	40	38	476	31%
要介護 3	26	29	29	25	24	27	25	28	28	28	31	29	329	22%
要介護 4	18	19	19	20	17	15	12	14	13	13	12	13	185	12%
要介護 5	4	4	2	2	2	1	4	3	3	5	4	3	37	2%
要介護累計	134	136	131	130	126	127	122	125	124	126	127	122	1530	
要支援 1	19	17	16	16	18	17	18	18	16	14	13	12	194	37%
要支援 2	22	25	25	24	26	26	26	30	32	30	33	32	331	63%
要支援累計	41	42	41	40	44	43	44	48	48	44	46	44	525	

(3) 渋川市在宅介護支援センターねむの丘

<目標>

相談の場を施設にとどめず、積極的に地域に出て活動し社会貢献に務める

<結果>

- 安心して相談できるように笑顔、言葉使いに気をつけ相談者が気持ちよく話をしていただけよう環境を整え相談ができた。
- 定期的に地域ケア会議、業務打ち合わせ会議に出席し地域包括支援センター、市職員等と連携を図り高齢者の支援につなげることができた。
- 介護教室、介護予防講演会の開催、地域のサロンへの出席、支援センター便りの発行を行い地域の高齢者又はそのご家族に介護や健康についての知識を普及するとともに相談窓口の周知につなげることができた。

渋川市地域包括支援センターよりの委託内容

(包括的支援事業)

- 地域包括支援センターのランチとして包括的支援事業の相談窓口・業務の協力について実施。
 - イ 介護予防ケアマネジメント事業
 - ロ 総合相談・支援事業
 - ハ 権利擁護事業
 - ニ 包括的・継続的ケアマネジメント
- 各種保健サービス、介護保険サービスの存在、利用方法等に関する情報の提供と積極的な利用について啓発を行う。
- 各地区における民生委員連絡協議会、サロンへの参加及び情報交換。

(高齢者実態把握事業)

- 保健福祉サービス利用申請手続きの代行申請代行について実施。
- 高齢者実態把握訪問の実施。

(サロン活動支援事業)

- 地域の高齢者実態把握、総合相談窓口として訪問を中心に活動に取り組む。
- 独り暮らし高齢者の見守り、定期訪問、家族介護教室の開催。

(4) ヘルパーステーションねむの丘

<目標>

ヘルパーの仕事に対して自身と誇りを持ち常に笑顔で接し御利用者の笑顔を引き出せ信頼関係を築けるような支援をする。

<結果>

- 日々の業務に対し、一人ひとりが責任を持ち、個々の利用者の目標達成に向け情報を共有し・協力し合いケアを行うことができた。
- 定期的にヘルパー研修を開催し、ヘルパーの資質向上を図ることで家族のと信頼関係築くことができ、また各居宅介護支援事業と連絡を密にすることによる信頼関係により実績を伸ばすことができた。

平成28年度要介護度別利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
要支援1	6	6	5	5	4	3	5	5	6	6	5	4	60
要支援2	5	5	7	7	6	6	5	4	4	4	3	4	60
要介護1	7	7	5	6	9	11	9	10	9	9	10	9	101
要介護2	4	4	5	5	6	4	4	5	6	6	6	6	55
要介護3	4	5	4	4	4	5	5	3	4	4	5	5	52
要介護4	4	4	4	4	4	3	4	5	5	4	2	1	44
要介護5	2	2	1	1	2	1	1	1	1	1	2	2	17
総合計(人)	32	33	31	32	35	33	33	33	32	31	33	31	389

平成29年度要介護度別利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
要支援1	3	4	4	3	5	5	5	5	5	7	5	6	57
要支援2	6	6	6	8	7	8	8	7	8	9	9	9	91
要介護1	9	10	8	8	7	7	8	9	9	7	7	6	95
要介護2	6	6	6	8	8	10	10	9	9	9	9	8	98
要介護3	4	7	7	7	7	6	6	6	6	7	6	8	77
要介護4	1	2	3	1	1	1	1	3	2	2	1	0	18
要介護5	2	2	2	3	3	2	1	1	2	2	2	2	24
総合計(人)	31	37	36	38	38	39	39	40	41	43	39	39	460

介護度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
28年度	60	60	101	55	52	44	17	389
29年度	57	91	95	98	77	18	24	460
比較増減	-3	+31	-6	+43	+25	-26	+7	+71

訪問介護事業所 型別年間サービス提供数

訪問 介護	28年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	比率
	件数	22人	22人	19人	22人	25人	24人	24人	25人	22人	21人	24人	23人	273人	
	回数	250	279	291	290	295	307	314	344	364	316	343	367	3,760	
	(身体型)	23	31	10	1	23	18	51	46	98	91	94	120	606	16%
	(身体生活)	124	133	127	133	132	109	110	102	89	81	83	66	1,289	34%
	(生活援助)	103	115	154	156	140	180	153	196	177	144	166	181	1,865	50%
	29年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	比率
	件数	21名	27名	26名	27名	26名	26名	25名	28名	27名	27名	25名	24名	309名	
	回数	330	393	424	421	428	384	333	433	448	409	394	407	4,804	
	(身体型)	109	78	74	57	54	40	46	112	130	114	106	110	1,030	21%
	(身体生活)	72	135	150	168	174	143	92	114	108	95	81	72	1,404	29%
	(生活援助)	149	180	200	196	200	201	195	207	210	200	207	225	2,370	50%